

花壇整備を通した地域内に潜在する子育て力の発掘

☒ **取り組み内容のポイント** ☒ 地域に潜在する子育てに関わることでできる人材を、花壇整備を通して発掘し、それぞれの持っている力を生かす場を提供する。将来的には児童館を核として地域資源をつなぎ、地域の子育て力を高めることを目標とする。

静岡県

社会福祉法人

聖隷福祉事業団

〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉 2-12-12

TEL: 053-413-3300 FAX: 053-413-3314

●法人創設年

昭和5 (1930) 年

●法人実施事業

- ①経営施設数合計: 120 施設
②経営施設・事業【種別毎の数】:
特別養護老人ホーム…15、保育園…10、訪問看護ステーション…15、有料老人ホーム…11、病院…6、健診施設…3、介護老人保健施設…3、軽費老人ホーム…3、その他…54

●法人の理念・経営方針

- <基本理念>キリスト教精神に基づく「隣人愛」
<使命>・いのちと尊厳のために
・利用される人々のために
・地域社会とともに
・未来を築く
・最高のものを

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款への記載: 記載していない
②事業報告・計画への記載: 記載している

●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】:

御殿山児童館

〒665-0841 兵庫県宝塚市御殿山 2-1-70

TEL: 0797-85-4854 FAX: 0797-85-1400

【施設種別及び利用定員】:

児童館

●活動内容

◇活動開始年:

平成23 (2011) 年9月

◇活動の対象者: 地域住民

◇活動の頻度・時間

初年度年4回 事業定着後は月1回程度 1回あたり2時間

●活動実施の背景、実施にいたった理由

地域の繋がりが弱くなり、地域の子育て力を高める取り組みが必要とされている。児童館に来館される子育て中の保護者から寄せられる相談も深刻な内容が増えている現状があり、地域の方たちが気軽に集い、関わりあえる空間を作る方法を模索していた。児童館に関わりたいたが対象年齢の子どもがいないと行きにくい、子育てから手が離れたので何か関われることはないかななどの声も地域から上がっていた。花壇整備を通して地域に埋もれている人材を発掘できないかと思っていたところ、宝塚市立宝塚園芸振興センターが「宝塚花のまちづくり推進事業」を行っており、協力をあおぎ実施に踏み切った。施設のことを知っていただく良い機会にもなることと、花壇が隣接しているため、併設の保育園、隣接の地域小規模養護施設と協議をして協働で事業を行うことにした。

●実施内容

関係施設担当職員でめざす方向、事業内容、今後の見通しを協議。

「子どもが好きで植物が好きな方。子どもから手が離れて何かを始めたい方」を募集し「子どもが好きな人のための、あいあいパーク※¹出張講座」として、初年度は寄せ植え講習2回、土づくり講習、花壇の植栽実習を行った。それぞれの回毎に、施設のことを知っていただくきっかけにして、施設の概要と役割、現在の子育て事情などのミニ講座を行った。参加者同士の仲間作りワークショップや、ティータイムを設けて話がしやすい雰囲気作りをし「子どもたちと関われる庭」の内容を検討した。見たり触ったり匂ったり歩いたり味わったりできる「五感を楽しめる庭」を植栽し、現在は月1回程度、草抜きなどの作業をする傍ら、花の植え替えの計画を立て、栽培した植物を利用して、ハーブティやポプリ作りミニアレンジメントなど、

参加者と子どもたちで楽しんでいる。

※¹ あいあいパーク（宝塚市立園芸振興センター）。

阪神淡路大震災により使用不可能となったコミュニティ施設を、園芸振興施設・防災公園を加え平成 12（2000）年に開設。英国都市を再現した、花と緑の情報発信ステーション。

◎活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

「植木の街宝塚」らしく園芸が好きな人が多い土壌もあり、反響は大きかった。

「いつもお世話になるから」と来館している子どもの保護者や、地域の年輩の方たちと普段は来館されない幅広い層の申込みがあった。

‘子どもに関わりたい’と言うよりも‘園芸に興味がある’と言う人の方が多かったが、ミニ講座、ワークショップの回数を重ねる毎に、最近の子育て事情を理解して下さり、来館親子の様子を見て下さる方も増えた。出かけるついでに児童館に立ち寄って下さったり、家で育てている苗を持ってきて植えたり、集まりに出られないからと都合の良い時間に来て草抜きをしてくださる方もいた。来館者の中にも、匂いや花を楽しむ親子が増え、小学生も参加者との関わりを楽しむ様子も見られ、異世代交流にも繋がっている。施設に関わってくださる方、足を運んでくださる方、気にかけてくださる方が増えたこと、何より花壇を楽しんでいる来館者が増えたことが大きな効果であったと感じる。



育っていくのが楽しみです

◎今後の展開

初年度連携事業「子ども好きな人のためのあいあいパーク出張講座」は、取り組みへのきっかけにすぎない。参加者の中からも、グループを組織して取り組みたいという声も上がっているが、現段階では、施設職員が中心となり行っている現状である。今後「地域の庭」として参加者が自己実現の場として各々の持っている力を生かしていきけるようにサポートしていきたい。職員主導から地域の主体的な関わりをするために「地域の方たちが気軽に寄れる場であること」「施設理解へ向けての取り組みを強化すること」「事業担当職員だけでなく全職員が自分の施設だけでなく地域と共に歩むという視点を持つこと」が重要である。職員一人ひとりが共通理解をし、課題意識を持ち事業展開をしていきたい。

◎主な経費や財源及び人員等

- ・取り組みに係わった職員数〔延べ9〕名
（職種等：保育士・児童厚生員）
- ・取り組みを実施している施設の事業規模（平成 23（2011）年度決算の事業活動収入）〔21,861〕千円
※法人全体の事業規模（同上）〔92,437,111〕千円



異世代交流にもつながりました